

今年の冬休みは、12月24日（土）から1月9日（月）までの17日間です。冬休みは、一年の節目を過ごす大切な時期です。いろいろな体験をし、有意義な日々を過ごしてほしいと思います。家庭生活においては、家族の一員としての役割を分担することを通じ、責任とけじめのある生活が送れるよう、事前に各家庭でよく話し合っておいてください。

また、自由な気分になりすぎて非行・問題行動に向かうことも考えられます。家に帰る時刻や子どもだけでは行ってはいけない場所、守らなければいけないことは学校と家庭、地域とで共通理解し、連携して指導していきたいと思います。子どもたちが安全で有意義な冬休みが送れるよう、以下の事項にご留意の上、各家庭でご指導をお願いいたします。

## 1 学習について

☆ めあてをもたせ、計画的に進んで学習させてください。

- (1) 学習計画やめあてにそって実行できているかどうか、自己評価させてください。
  - ・できているときはほめ、できていないときは励ましてください。
- (2) 読書をたくさんさせてください。
- (3) 学校や各学年からの課題は、確実にやりとげさせてください。
- (4) タブレットは、宿題か学習のときだけの使用とし、管理をお願いします。**

## 2 生活について

- (1) 規則正しい生活をさせてください。
  - ①就寝・起床の時刻を決めて守らせてください。
  - ②家族で話し合っ、家の仕事を毎日させてください。
  - ③家族の中でも「あいさつ日本プロジェクト」を続けさせてください。  
(親戚や近所の方へも)
  - ④どこへ行っても「ぬいだくつをそろえる運動」を実践させてください。
  - ⑤お金の使い方を考えさせ、むだづかいのないようにさせてください。
- (2) 健康な生活をさせてください。
  - ①SNS（ゲーム機も含む）の犯罪やトラブルに巻き込まれないようにする。
  - ②決まった時間に、3食きちんと食事をさせてください。
  - ③新型コロナウイルス感染症対策（手洗い・うがい・ソーシャルディスタンスなど）をしっかりとさせてください。  
**密を避ける生活**をお願いします。
  - ④むし歯などの病気は休み中に治してください。
  - ⑤寒さに負けず、戸外での遊びや運動をすすめ、体力をつけさせてください。
- (3) 安全な生活をさせてください。
  - ①交通事故には絶対にあわないように気をつけさせてください。
    - ・具体的な言葉かけが必要です。
    - ・小学生の交通事故の原因で一番多いのは、「とびだし」です。
  - ②自転車に乗るときは、ヘルメットを必ずかぶらせてください。



- ・自転車乗りの範囲は、「1・2・3年生は公道では乗らない」、「4・5・6年生は学区内」です。これ以外は家の人と一緒に乗ります。広い道に出るときは特に注意してください。

③ SNS等の使用の際には、安心ふっかネットのルールを守らせてください。

④不審な人の誘いには、絶対にのらないようにさせてください。

「いか・の・お・す・し」(ついて行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる)

- ・不審な人を見かけたら、連絡をさせる。
- ・もし、事故にあったら大声をあげ、近くの人に助けを求めるようにさせる。
- ・電話での友達の住所や電話番号の聞き出しにも応じないようにさせる。

⑤たき火などの火遊びを絶対にしないようにさせてください。

### 3 外出について

☆ 安全に気をつけ、人に迷惑をかけないようにさせてください。

(1) 子どもの行動を常に確認しておいてください。

①親子で約束を決め、守るようにさせてください。

②「いつ」「どこへ」「だれと」「何時に帰る」などを伝えさせてください。

(2) 夕方は、明るいうちに家に帰り着くようにさせてください。目安は 16:30 です。

(友達も、明るいうちに帰らせてください。)

(3) ショッピングセンターやコンビニなどへ行くときは、保護者が必ず同伴してください。

①ゲームセンターやカラオケへは、子どもだけでは絶対に行かせないでください。

(学区内のコンビニには行ってもよいこととしますが、買い物以外の目的では利用しないこと、買い物をしたらすぐに家に帰ることなどをお声がけください。)

②お金は必要な分だけしか持たせないでください。

③万引きや喫煙などを絶対にさせないでください。

④お金や物の貸し借りやおごるなどの行為は絶対にさせないでください。

### 4 その他

☆ 人のために、できることを進んでさせてください。

(1) 冬休みにしかできない体験をさせてください。

(2) 深谷の子「6つの誓い」(夢・毎日勉強・体験・すすんであいさつ・くつそろえ・心のこもったことば)に進んで取り組ませてください。

(3) 事故防止・非行防止に地域ぐるみで取り組んでください。

①いじめ、けんか、火遊び、危ない遊びなど、事故や非行につながりそうなことがあったら、注意してください。

②非行・問題行動を見かけたら、自分の子だけでなく、よその子にも注意をし、学校へも連絡してください。

③不審な人を見かけたときは、警察へ連絡してください。

④スマホ、携帯電話、ネットに接続しているゲームをする、などの利用は保護者の管理のもとで行わせてください。



#### 八基地区家庭・地域で取り組む心得三ヶ条

1. 進んであいさつをしよう。

2. 子どものよい言動をたくさんほめよう。

(冬休みも子どもたちをたくさんほめて認めて、自信をつけさせてください。)

3. 子どもに良い手本を示そう。